

12月の便り

自分たちが留学に来て3カ月が経ち、最後の1カ月となる12月。8月末に台湾に来た頃は台湾人の話していることが全く聞き取れず、飲み物をお店で買うことでさえも苦労しました。それから、日々の授業、台湾人の友達との交流、日常生活で中国語の使用頻度が増えたりと、確実に一人一人の中国語力が上がってきて迎えた最終月。

焼肉

12月にあった留学組全員参加の行事といえば、一つは「先生に連れて行ってもらった焼肉」。

前々から、授業中に先生が連れて行ってあげると言っていた焼肉。焼肉代の大半は先生が出してくださり、皆で焼肉食べ放題を満喫しました!焼肉の後は、皆で電車に乗り、防空壕を見学に行きました。先生、ありがとうございました!!



(文化講座は、風邪で休んだから、割愛)

メリークリスマス

興奮した12月16日のクリスマスコンサート!
毎朝起床したら中国語の練習も兼ね聴いている鄧福如がこの日、寮の前で開催された

コンサートに出演しました。今回のセメスター留学に行く前から聴いていた歌手を生で見れたことは一週間早い一生の思い出に残るクリスマスプレゼントになりました。また、ただ見ることができた以外に、直筆サイン入りポスターも手に入れることができました！！

ご来光と流れ星

空気が澄んできた12月は山も空もきれいなキャンパスになりました。卒業式も間近にせまった火曜日の夜、台湾の友達と大学近くの海岸線に行きました。さすがの台湾と言えども12月の夜は防寒着がないと寒かったです。だけどそれ以上に浜辺で寝そべって必死にお願い事をした心には敵わなかったのかなと思います（笑）

流れ星と同じくらい心が澄んだのは、台湾が誇る阿里山にご来光を見に行った時でした。あいにくの霧がこもる標高2600メートルからの日の出はもやがかかりはっきりとは拝めませんでしたが、夕暮れに現れた雲海はまるで天にいるかのような神秘的な光景でした。



卒業式

そして、卒業式。皆で4カ月の思い出の詰まったVTRを見て、成績表と卒業証書をもらいました。

4か月を長く感じた人もいれば、短く感じた人もいるのではないのでしょうか。

夜は、先生・チューターを含めての食事会でした。こちらも、またまた食べ放題でしたね。

中華はもちろん洋食やお寿司や刺身などもあり、様々な種類の料理やデザートがありました。

やはり皆で一緒に食べるということで、料理も美味しかったです、非常に楽しめました！

涙のお別れ

最終日、朝から部屋の最終チェックもありバタバタしていましたが、無事それぞれの部屋のチェックを終わらせ、友達や先生との別れの時がやってきました。バスの出発の時間も迫っていて、別れの時はあっという間でした。

友達との別れは、非常に悲しいものでしたね。特に4か月一緒に暮らしたルームメイトとの別れは非常に辛かったです。

最後に、4か月短く感じた人、長く感じた人それぞれいると思いますが、台湾での経験は一生忘れないと思います。

そして、新たな目標が生まれた人もいるのではないかと思います。この留学を糧に、新しい目標に向かって進んでいこうとおもいます!



池間 永健・山口晴吉